



手賀沼沿岸相馬氏の痕跡と戦国

千葉氏一族の相馬氏は千葉常胤の次男、相馬師常をはじめとして、連綿と続きましたが、南北朝期以降主流は奥州で栄えました。しかし、元々相馬郡という名前の通り、手賀沼沿岸には相馬氏の勢力があり、遺跡や伝承などからその痕跡をたどることができます。相馬氏の一族は、根戸、鷲野谷、泉、藤ヶ谷などに分布し、館を構えていたようです。

また、古河を本拠とした古河公方足利氏と関東管領上杉氏の対立を基軸にした享徳の乱前後から、手賀沼沿岸や周辺でいくつかの大きな合戦が行われ、戸張氏など相馬氏一族の子孫も参戦しています。

古文書の中に多少記述があるほか、様々な伝承もあり、謎も多いですが、一緒に手賀沼沿岸に残された中世相馬氏の痕跡をたどってみませんか。

相馬氏の伝承の残る
柏市泉の龍泉院



妙見曲輪跡にある鷲野谷の星神社



明治13年陸軍参謀本部迅速測図の鷲野谷

日時：**平成28年7月24日(日)**
13時30分～15時30分頃まで (13時開場)

場所：柏中央公民館 集会室1・2
柏市柏5丁目8番12号(教育福祉会館内) ⇒ アクセス：柏駅東口より徒歩10分

講師：当会より

費用：会員100円 会員外300円(資料代など)

その他：駐車場は隣接してありますが、有料です。

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

参考文献 『手賀沼をめぐる中世(2)－相馬氏の歴史－』 千野原靖方著 (たけしま出版)

【お問合せ先】

E-Mail：info@matsugasaki-jo.net TEL：090-3579-5185 森 (平日は18時以降で)